

2025 年度 第 3 回 雄踏中学校学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 2025 年 10 月 22 日（水） 14 時 30 分～16 時 30 分まで
- 2 開催場所 雄踏中学校 1 階会議室
- 3 出席委員 藤田 源大、藤田 雅光、加茂 しづか、関谷 みゆき、河瀬 俊夫、
渥美 香由里、山内 勝己、坂下 正泰、坂田 尚久
- 4 学 校 山下 博之（校長）沖田 暁（教頭）
武田 伸江（教諭）岡本 怜大（教諭）
藤松 昌一（CSディレクター）

5 教育委員会 出席者 なし

6 傍聴者 なし

7 会議録作成者 CSディレクター 藤松 昌一

8 開会挨拶（教頭）

委員総数 9 名中、9 名が出席し過半数に達しており、会議が成立したことを報告します。

9 会長挨拶（藤田源）

本日の熟議テーマは『雄踏の未来と今』と『部活動の地域連携』について
皆さんに熟議をして頂きます。宜しくお願いします。

10 校長挨拶

学校・教師が担う業務分担に係る 3 分類 19 項目について資料を基に説明した。

11 熟議①『雄踏の未来と今』について

岡本教諭、生徒会 3 役の生徒が『2 年生 これまでの生き方学習』資料を説明しながら
将来の自分たちが必要とする能力とは何か、そして 30 年後の雄踏がどのような街になっ
ていてほしいかを説明した。

出席委員からの意見として

- ・ いかにその良さを維持向上するためには今の大人たちが考えていかななくてはいけない。
- ・ 伝統の良さを残す必要がある。（伝統行事への積極的参加など）
- ・ 地域ボランティア活動に積極的に参加することで地域と関わる事が重要。
- ・ 雄踏にずっと住んでいきたいと思える環境をつくっていく必要がある。そのためには今
後も今のつながりを維持し継続していく必要がある。
- ・ 仲間と積極的につながっていてほしいなどの意見が出ました。

12 熟議②『部活動の地域連携』について

校長から『休日の部活動の地域展開』に向けての資料内容の説明があり今後の部活動の
在り方について出席委員の皆さんの熟議をお願いした。

出席委員からの意見として

- ・ 山内 中体連の組織は存続しますか。

校長 残ります。平日の部活動は学校主体で行っていくため全中組織は存続します。

- ・河瀬 父兄の負担増（時間的・金銭的）になるのではないかと懸念している。
会長 その通りだと思います。
- ・坂田 教師の働き方改革で今後教師が部活動に係ることが難しくなるのでは。
今は全員が部活動に参加できる状況ですが、今後はレベルに届かない生徒はふるいに掛けられるのではと危惧している。
現状では部活募集のやり方も見えてこないなど、体制が見切り発車で大丈夫か。
- ・山内 音楽部の楽器など今後個人持ちになっていくのか。
- ・坂下 先生の中には土日も指導したい人がいるのではないかと
校長 申請すれば可能となります。
- ・坂下 地域の多様な団体が運営母体となるとなっているが親の負担増に繋がるのでは
校長 金銭的に余裕のある家庭は、強くしているクラブに入る可能性は高いと感じている。
- ・渥美 中学生においても格差が生まれないよう支援体制を充実してほしい。
- ・関谷 外部コーチも仕事を持っているため、時間的に対応が可能なのか。また指導者が細分化され指導方法が変わると生徒が戸惑うのではないかと。
- ・坂下 部活動への参加者が減ると、生徒指導面でも帰宅組が増え、非行問題などが懸念されないか。
- ・会長 平日は学校が部活動の中心となり部を維持していくのが良い選択だと思います。教師の負担軽減には反すると思いますが。
- ・校長 学校単位・指導者の変化・金銭面など多くの意見を頂きました。まだ体制に不安定要素が多くあります。本日は現状の状況を委員の皆さんに理解をして頂く事が大きな目的でした。今後新たに制度が具体化し次第、委員の皆さんに熟議をお願いします。
- ・会長 今後の展開を注視していきたいと思います。本日はありがとうございました。

連絡事項

13 学校運営協議会自己評価提出のお願い（武田）

- ・2026年1月9日までに提出をお願いした。

14 次回学校運営協議会日程について（武田）

- ・次回開催日 2026年2月12日（木）14：30～